

標 題 : Adherence to Mediterranean diet and risk of cancer:
A systematic review and meta-analysis of observational studies
地中海食事の順守と癌のリスク : 観察研究の系統的な再検討およびメタ解析

著 者 : L. Schwingshackl and G. Hoffmann (オーストリア ウィーン大学
生命科学部 栄養学科)

掲 載 誌 : Int. J. Cancer 135 : 1884-1897 (2014)

要 旨 :

この調査研究の目的は、癌全体のリスクおよび各種の癌に対する地中海食事の順守の影響をメタ解析することであった。

文献調査を、2014年1月10日までの電子データベース MEDLINE、SCOPUS および EMBASE を用いて実施した。

採用基準は、コホート研究または症例-対照研究であった。

研究個別のリスク比(RRs)を、Cochrane ソフトウェアパッケージ Review Manager 5.2 によるランダム効果モデルを用いてまとめた。

被験者 1,368,736 人による 21 件のコホート研究および被験者 62,725 による 12 件の症例-対照研究が目的に合ったので、メタ解析に取り入れた。

地中海食事の最も高い順守は有意なリスク低下を、癌全体の死亡率/発症率 (コホート、RR:0.90、95%CI 0.86-0.95、 $p<0.0001$;I(2)=55%)、結直腸癌(コホート/症例-対照、RR:0.86、95%CI 0.80-0.93、 $p<0.0001$;I(2)=62%)、前立腺癌 (コホート/症例-対照、RR:0.96、95%CI 0.92-0.99、 $p=0.03$;I(2)=0%) および気道・消化器の癌(コホート/症例-対照、RR:0.44、95%CI 0.26-0.77、 $p=0.003$;I(2)=83%)にもたらした。

有意でない変化が、乳癌、胃癌および膵臓癌にみられた。

かなりの公表バイアスの限定された証拠を、Egger 回帰検定が提示した。

地中海食事の高い順守は、癌全体の死亡率(10%)、結直腸癌(14%)、前立腺癌(4%) および気道・消化器の癌(56%)のリスクに関して有意な低下と関連した。

キーワード : 地中海食事、癌、メタ解析
